

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 16 年 10 月 28 日 (2004.10.28)

【公表番号】特表 2000-508662 (P2000-508662A)

【公表日】平成 12 年 7 月 11 日 (2000.7.11)

【出願番号】特願平 9-537456

【国際特許分類第 7 版】

C 07 D 219/06

A 61 P 31/12

A 61 P 31/18

A 61 K 31/437

A 61 K 31/473

C 07 D 471/06

【F I】

C 07 D 219/06

A 61 K 31/00 631 H

A 61 K 31/00 631 M

A 61 K 31/435 605

A 61 K 31/47 606

C 07 D 471/06

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 11 月 21 日 (2003.11.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 手 続 補 正 書

平成15年11月21日



特許庁長官 殿

## 1. 事件の表示

平成9年特許願第537456号

## 2. 補正をする者

名 称 アメリカ合衆国

## 3. 代 理 人

住 所 東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手町ビル206区  
ユアサハラ法律特許事務所

電 話 3270-6641~6

氏 名 (8970) 弁理士 社 本 一 夫



## 4. 補正対象書類名

請求の範囲

## 5. 補正対象項目名

請求の範囲

## 6. 補正の内容

別紙の通り



方 式 審 査

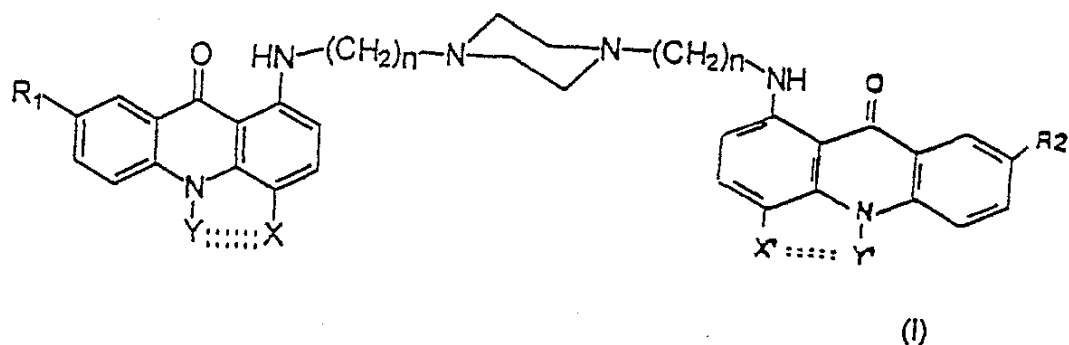


(別紙)

(1) 特許請求の範囲を以下の通り補正する。

『 請 求 の 範 囲

1. 下記的一般式 (I) :



(式中、

$R_1$  および  $R_2$  は独立して  $-H$ 、 $-OH$ 、アミノ、 $C_1-C_8$  アルキルアミノ、 $C_1-C_8$  ジアルキルアミノ、 $C_1-C_8$  アルコキシ、 $C_1-C_8$  アルキル、 $C_1-C_8$  ハロアルキルまたはハロゲンであり；

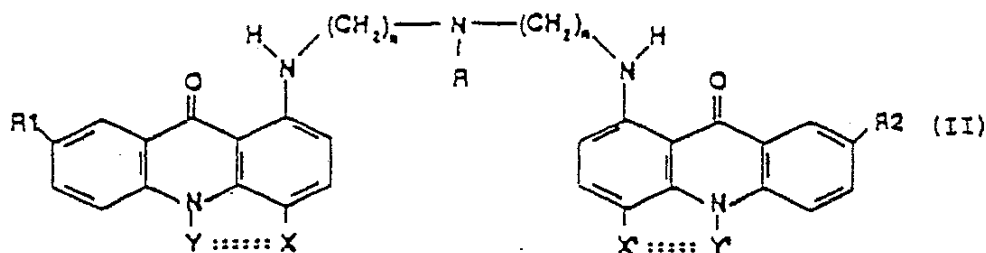
$n$  は 2～6 であり；

$X$  および  $X'$  は独立して  $-N$  または  $-NO_2$  であり；

$Y$  および  $Y'$  は独立して  $-N$  または  $-CH$  または  $-H$  であり；

二重破線は二重結合または結合なしを表し；したがって、 $X$  または  $X'$  が  $-N$  であり、 $Y$  または  $Y'$  が  $-CH$  または  $-N$  である場合、二重破線は二重結合であり、 $X$  または  $X'$  が  $-NO_2$  であり、 $Y$  または  $Y'$  が  $-H$  である場合、二重破線は結合なしである) を含む化合物。

2. 次式：



(式中、

RはH、 $C_1-C_8$ アルキル、または組成物をプロドラッグとして機能させる基であり；

$R_1$  および  $R_2$  は独立して-H、-OH、アミノ、 $C_1-C_8$ アルキルアミノ、 $C_1-C_8$ ジアルキルアミノ、 $C_1-C_8$ アルコキシ、 $C_1-C_8$ アルキル、 $C_1-C_8$ ハロアルキルまたはハロゲンであり；

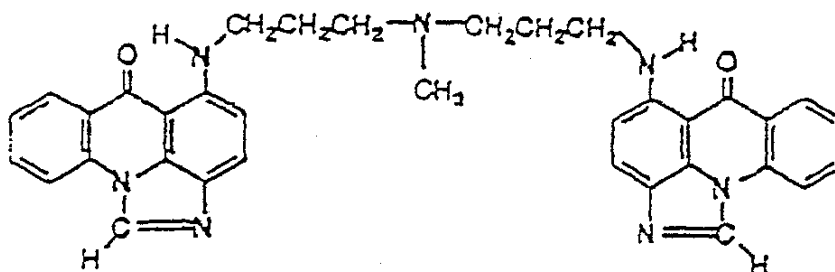
nは2～6であり；

XおよびX'は独立して-Nまたは-NO<sub>2</sub>であり；

YおよびY'は独立して-Nまたは-CHまたは-Hであり；

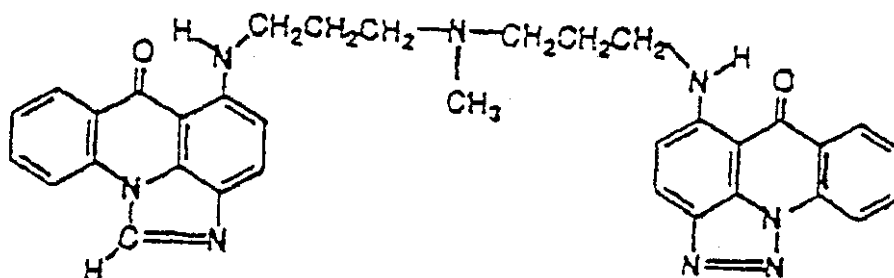
二重破線は二重結合または結合なしを表し；したがって、XまたはX'が-Nであり、YまたはY'が-CHまたは-Nである場合、二重破線は二重結合であり、XまたはX'が-NO<sub>2</sub>であり、YまたはY'が-Hである場合、二重破線は結合なしである) の化合物および薬剤学的に許容しうるキャリアを含む、ウイルス複製を阻害するための薬剤組成物。

3. 化合物が次式：



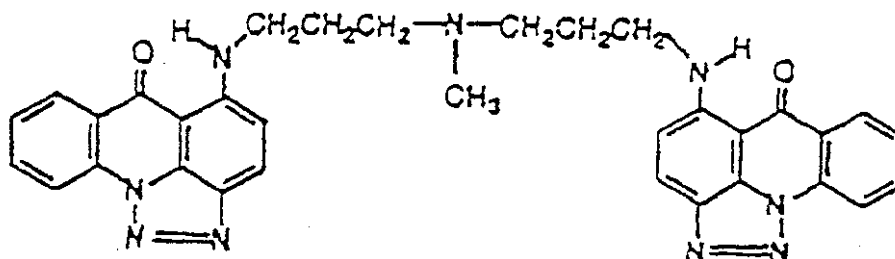
を含む、ウイルス複製を阻害するための請求項 2 記載の薬剤組成物。

4. 化合物が次式：



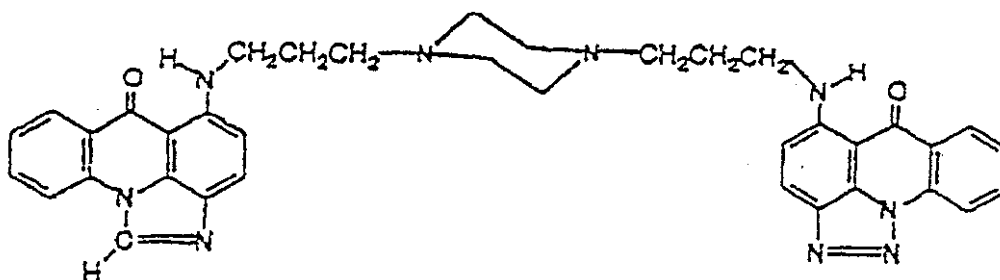
を含む、ウイルス複製を阻害するための請求項 2 記載の薬剤組成物。

5. 化合物が次式：



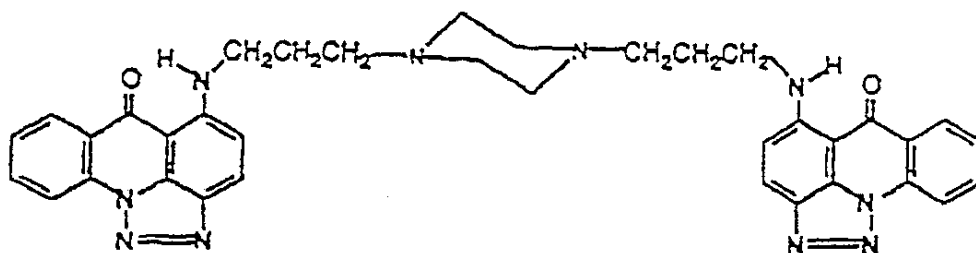
を含む、ウイルス複製を阻害するための請求項 2 記載の薬剤組成物。

6. 化合物が次式：



を含む、請求項 1 記載の化合物。

7. 化合物が次式：



8. 請求項1記載の化合物および薬剤学的に許容しうるキャリアを含む、ウイルスの複製を阻害するための薬剤組成物。

9. 請求項1記載の化合物および薬剤学的に許容しうるキャリアを含む、新生物細胞増殖を阻害するための薬剤組成物。 』